



# 日本海を超えていく



## 応 援

校長 佐藤雅秀

「フレー、フレー、卓球部」「行ってらっしゃーい」「行ってきまーす」「がんばれー」「ありがとー」

6月10日に、船上と学校屋上との間で交わされたやりとりです。この日は、下越地区中学校体育大会に参加するために中学校の卓球部4名が出島する日でした。4名の選手は、児童生徒が学校の屋上から大漁旗を振りながら声を限りに応援する姿に励まされ、強く背中を押されたことでしょう。船上からは、それに応えるべく感謝と決意を力強く叫ぶ選手の姿がありました。



また、乗船場でも、見送りにきた保護者や地域の方から激励の言葉や拍手をいただき、皆の期待や希望を集めていることが改めて実感されました。

このほかにも、6月は様々な行事がありました。マラソン大会(小中)や大謀網漁(中)、魚捌き体験(中)、穴釣り体験(小)など。中でもマラソン大会では、村を挙げて(と思うくらいの人数でした)の応援があり、沿道の皆様が歩道で応援する姿が、そこかしこで見受けられました。児童生徒は、自分の名前が記載された布をゼッケン代わりに貼り付けており、名前を呼んで応援していただいたことに深く感動していました。走り終わった児童生徒の感想には、「村の方々からの応援に、背中を押された」「もうだめかなと思ったけれど、応援のお陰で最後まで走りきることができた」「村の人の声に勇気をもらった」等があり、児童生徒の頑張り到最后の力を与えてくれました。

応援の「応(應)」の字には、“心でしっかり受け止める”という意味があり、「援」の字には、“あるものを上下から手を差し伸べて引く”という意味があります。相手の物事に取り組む姿勢に意気を感じ、手を差し伸べて支援しようとする行為が応援です。児童生徒が頑張っている姿を保護者や地域の方々が理解し、少しでもいいから子どもたちにできることをしよう、という気持ちの表れが沿道の声援となったのでしょうか。それこそが応援です。

応援はスポーツに限ったことではありません。萎えた心やあきらめかけた心、不安な気持ちや緊張感をもっている人に寄り添い、一声かけて心に火を点したり、リラックスさせてやることも応援です。

今後もたくさんの行事が予定されています。声をかけてもらえるのはうれしいことで、皆さんがかけてくれる一声で、子どもたちは大きく成長し、また、認められていることを実感します。皆様からの多くの応援をこれからも期待しております。



## 「今年度の学校運営を見ていただきます！」 ～第1回 学校運営連絡協議会の様子



5月30日に令和4年度学校運営連絡協議会が開かれました。学校評議員の皆様が教育長からその職務を委嘱されました。校長の学校経営方針や今年度の活動について説明させていただき、評議員の皆様からは今年度の学校方針について、提言をいただきました。地域とともに歩む魅力と充実感あふれる学校づくりがスタートしました。



## 「ちょっとした気遣いが学校の潤いに…。」

～保健室前の掲示物から～



保健室前を通っていると、ふと、掲示板に目がいききました。工夫とアイデアと子どもを想う気持ちが、一瞬のうちに、心に突き刺さりました。見ていて、「本当に素敵で、心温まる素敵な掲示物だと思いました。「人は環境によって育つ」と言います。素敵な自然や仲間たち、そして、温かいこの掲示物が、どんどん人を育ててくれると思います。これからも「素敵な環境」を一步一步創っていき

たいと思う毎日です。

## みんなで豆を植えました

～枝豆種まき～



6月16日に全校生徒で枝豆の種まきを行いました。ここに至るまで、中学2年生が中心となって畑の整備を行い、その土壌を作り上げました。大きく育ち、たわわに実った枝豆や大豆ができること間違いなしです。



## 「花が心を癒します」

～学校の環境から～



今、学校とその周りには、素敵な花々が咲き誇っています。そして、当校の用務員である五十嵐利一さんも、日々の学校環境の整備に一生懸命で、校舎は色とりどり、いろいろな花々でいっぱいです。こんな素敵な環境だからこそ、素敵な人が育つと感じる毎日です。



## 「その瞳が素敵に輝いていました。」

～栗小フェスティバル(小学校)～

6月22日に学校運営連絡協議会の皆様や保育園の園児・先生、保護者の皆様・中学生を招いて、「栗小フェスティバル」が行われました。

子どもたちが中心となって計画し、運営・実行した「魚釣りゲーム」・「栗フェストアップクイズ」・「なぞクイズ」は工夫とアイデアを凝らしたイベントとなりました。また、可愛らしく、一生懸命に説明する姿に、訪れた人たちは、心が和み、笑顔と笑いがいっぱいの会場となりました。とても素敵な企画と運営でした。



## 「大量の魚にびっくり、興奮！！」 ～大謀網体験から(中学校)～

6月8日に大謀網体験が実施されました。大謀網とは、大型の定置網を2隻の船が漁師の力で魚の行動範囲を絞り、魚を捕まえる漁法です。勢いよく揚がってくるサバや真鯛、ブリなどを見て、生徒たちは興奮していました。

また、翌日には、大謀網漁で獲れた魚を捌く「魚捌き体験」を行いました。講師の本保和平様の実技を拝見し、見よう見まねで魚捌き実践に取り組みました。

その後、自分たちで捌いた魚を料理し、実際にいただきました。「魚を見学し、獲れた魚を仕分け、捌き、自分たちで調理して食す」めったにできない体験を通じて、海の恵みや栗島のすばらしさを満喫した一連の活動となりました。



## 「一生懸命、全力で走りました」

～「創立130周年記念 タイボーマラソン大会」～



6月1日に創立130周年記念タイボーマラソン大会が行われ、栗島のマスコットキャラクターである「タイボーくん」が応援に駆けつけました。島民の方が一生懸命に応援してくれる姿が児童・生徒のパワーとなり、児童・生徒はあきらめることなく全力で走りきりました。子どもたちの走る姿を見ていたおじいちゃん・おばあちゃんが一言「子どもたちの頑張りから私は元気をもらった」「また、来年が楽しみ！もっともっと長生きするぞ。」などなど、こちらもとてもうれしくなっていました。



児童・生徒はあきらめることなく全力で走りきりました。子どもたちの走る姿を見ていたおじいちゃん・おばあちゃんが一言「子どもたちの頑張りから私は元気をもらった」「また、来年が楽しみ！もっともっと長生きするぞ。」などなど、こちらもとてもうれしくなっていました。

## 「いざという時に行動できる人に」

～村合同防災訓練～



6月16日に村合同の防災訓練が行われました。豪雨による土砂災害を想定し、体育館に避難所を開設し、島民が一斉に非難するという訓練でした。児童生徒は真剣な眼差しで体育館に避難し、その後、一人一人を確実に保護者に引き渡して訓練を完了しました。会場は、島民全員で一人一人の命を大切にするという想いで溢れていました。

## 保護者と職員の素敵な親睦の時間でした

～新任職員わっぱ煮会～



6月12日に退任会員送別及び新任職員歓迎わっぱ煮会が実施されました。わっぱ煮会の開催が3年ぶりであって、職員と保護者の皆様も準備の段階から笑顔がこぼれ、本当に楽しい一時を送らせていただきました。栗島の郷土料理である「わっぱ煮」を保護者の皆様と一緒に作り、おいしい御馳走を酒の肴にして、大いに語り、笑い、楽しみました。保護者の皆様と職員が一つになり、大切なお子さんを全力で応援していくことを確認した大切な時間となりました。これからも保護者の皆様に寄り添い、職員一同全力で取り組む覚悟です。

